

第一編

東京女高師附屬幼稚園保姆 菊池ふじの先生 共著
 同 徳久孝子先生

幼兒の
 ための
人形芝居脚本

脚本十種、此の人形芝居は常に幼兒に新しい歡喜を以て迎へられる。巻頭寫眞オフェット七度刷舞臺裝置、及び同じく各種人形を収め、ポプリン布厚表紙本綴、體裁瀟洒。

第二編

膳 眞親子先生著

自然物おもちゃ

幼兒保育上大切なお細工に於て、あらゆる自然物を利用し巧みに種々の形態を模せしむ。その數實に四百八十有餘種、敘説亦簡明、寫眞繪畫頗る多數。

第三編

東京女高師附屬幼稚園保姆 及川ふみ先生著

幼稚園の手技製作

著者は東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て實際指導し來たれるものを各學期各月に配當し之を統整し、以て各幼稚園託兒所等に於ける最も緊要なる手技製作の指導保育を遺憾なからしむるやう、直接手をとりにて導くが如く、親切に敘述す。

第四編

目白幼稚園園長 和田實先生著

目白幼稚園保姆養成所長

實驗保育學

著者は我國幼兒教育界の權威者にして、多年幼兒保育の實際に任り、學術的に實際的に幾多の尊き蘊蓄が凝つて本書を成したるもの。小學校に於ける教育學の如く、實に幼兒教育界に於ける教育學としての輝ける寶玉であり、最新の保育指導書である。

株式會社 丸貝館

本店 東京・神田・小川路・電話九三二八七番
 支店 大阪・東區平野町・電話本局一六三番

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 吉岡 郷甫
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三
 附屬幼稚園主事

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ釀出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
 - 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習會ノ開催

- 一、雜誌發行(毎月一回)
- 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一名 會務ヲ總理ス
 - 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 - 幹事 若干名 務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ヲ諮詢ニ應ス
 - 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
 - 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
 - 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
 - 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定價		廣告	
一ヶ月分	金參拾五錢	特等面	一頁二面一頁
半年分	金貳圓拾錢	金參拾圓	金貳拾圓
一年分	金四圓貳拾錢	一等面	一頁以下
拾貳册送	料共	金貳拾五圓	御斷
拾貳册送	料共	神田區駿河臺	三ノ品田
		廣告社に御申込下さい	

(外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい)
 昭和八年七月八日印刷納本
 昭和八年七月十五日發行
 幼兒の教育 第三十三卷 第七號

不許複製 禁止轉載

東京女子高等師範學校附屬幼稚園內
 編輯者 倉橋 惣三
 發行所 柴山 則常
 東京市本郷區駒込林町百七十二番地
 印刷所 會社 杏林 舍

發行所 日本幼稚園協會
 振替口座東京一七二六六番

注 文 規 定

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます(郵券代用の場合には總て一割増)

一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます

一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます

武藏野音樂學校長 福井直秋先生著

(刊新)

兒童唱歌七十二曲集

菊版洋裝美本
箱入全一冊

定價金壹圓貳拾錢

送料金八錢

兒童唱歌の基準!! 待望の名曲集漸く成る。

俄然大評! 注文殺到! 評! 好! 評!

こつき・わかくさ・ささぶね・みいちやん・ぶらんこ・たんぼぼ・シヤボンだま・あをがへる・ひよこ・さよなら・つばき・さくら・日の出・すずめのおやど・子ねこ・まりなげ・はしれ・國の祝日・ねむれ・青空・野ぎく・朝・濱邊あるき・つじ山路・ねむりませう・月・兵隊さん・風車・ご門の電燈・みなしご・冬が来た・氷すべり・蝶々・川遊び・朝風・鯉のぼり・雲雀・池の緋鯉・登山・子雀・星のひかり・山家のちいさん・月のひかり・霧・雪・春景色・田舎道・琵琶湖・夏の山・盆踊・涼しき森・汽車の旅・残れる秋草・小さき星・落葉・郊外の秋・港のにぎはひ・懐しの友・冬枯・花見・春風・小舟よ・あやめ・松風・懐し我が母・川邊の柳・うれしや我は・清き小川・冬の夜・親の恩

日音本樂教協育會

新尋常小學唱歌伴奏及解説

エホンシヤウカ春夏秋冬の巻

全六拾冊
定價各六錢
送料六錢

新高等小學唱歌伴奏及解説

子供の舞踊

全二冊
定價各九錢
送料六錢

卷一・二低學年用各六拾錢
卷三・四高學年用各金一圓送料八錢

子供天地

號 月 八 行 發 日 五 月 七

定價 一年半
 部前年 五金
 十五部 二金
 錢十圓 五金
 稅二圓 八金
 錢十六圓 五金

編輯顧問 東京女子高等師範學校幼稚園主事 **倉橋惣三**

本號目次

◎夏が来ました。山にも、野にも、街にも、海にも、河にも、すさまじい力こぶを入れた。夏が威勢よくやつて来ました。そして、ありとあらゆる物は、生々として喜びに溢れておきます。丁度子供が楽しい遊びに夢中になつてゐるやうに、夏は子供の天地です。嬉しうたの愛する子供の爲に、この夏を心ゆくまで味はせ、身体も心も、すくすくと眞すぐに伸びさせるやう、心から注意を拂ひます。

◎『ゴドモノテンチ』は、子供のため、に生れて来た楽しい嬉しうたの、ります。而も其處には、嬉しうた、しまるやうな涼風や、漲るやうな、生き生きとした流れがあつて、自由な生活に嬉しうたの子供の天地が、手を擴げて居ます。

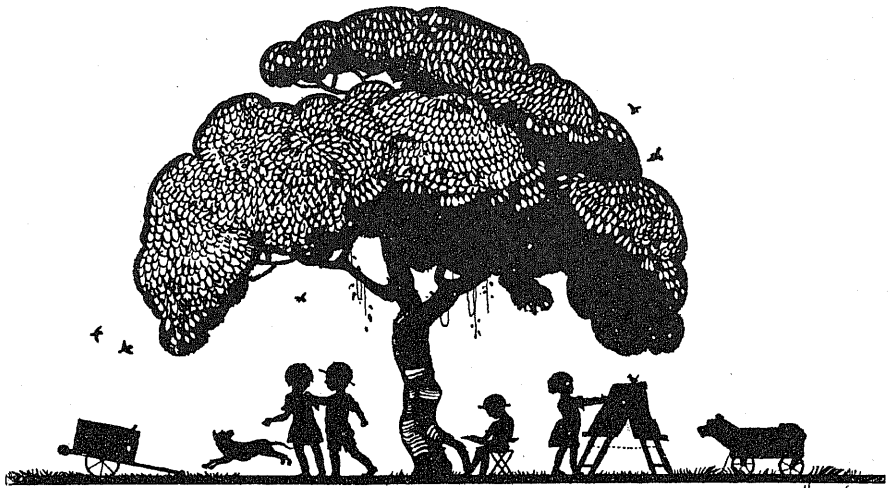
◎新しい時代の子供には、新しく朗かなしい時代の子供の爲になる、本當に子供が喜びの爲になる、物を興へなければなりません。『ゴドモノテンチ』は、即ちその理想になつた日本一の子供の繪雑誌です。

- ◎表紙(山の風) 清水良雄
- ◎目次(イチゴ) 越智波爾芽
- ◎扉(アサガハ) 石井柏亭
- ◎朝だ朝(童謡) 北原白秋
- ◎蟬捕り(子供の遊び共四) 武井武雄
- ◎ピヨピヨひよつこ(童謡) 初山滋
- ◎ロビンソン(繪話共三) 森西八郎
- ◎蛙の一家 川上四郎
- ◎エスカレータートブタクン(童話) 本田庄太郎
- ◎休みの健一とゆう子(東京驛出發) 森田肇
- ◎叔父さん叔母さんの歓迎(着早々のいたづら) 同
- ◎地引網と驢馬(お魚をもらつたり) 同
- ◎海水浴(ホスも一緒に) 同
- ◎パセウノカヘル(童話) 濱田廣介
- ◎オヒゲノチイチャン(漫畫共三) 前川千帆
- ◎エノケノカタジユンジョ 吉倉賛治
- ◎カラストブタ(数の概念) 岩本こも枝
- ◎メンタルテスト 武井武雄
- ◎裏表紙(圖案) 熊谷晋太郎
- ◎附録「自動車」(細工のもの) 中山五郎
- ◎曲譜振付(ピヨピヨひよつこ) 土川五郎
- ◎お母様方の頁：子供に對して聞かせる話
- ◎お母料理：作者の言葉：當選發表：衛
- ◎生：等

編輯顧問 東京高等師範學校圖書科主任 **板倉賛治**

發行所 子供天地社

東京電報
 市話替
 本小東
 郷石川
 區駒川
 達五五
 一十町
 六三〇



夏休みにお子様方満悦一〇〇%の
手技用品ごおもちゃ

- ◇團扇——淡い、紅・黄・紫・緑・水色の五種。
何れも貼紙クレオン等で圖案を施して用ひ
ます。各色取合五十本 一組 金一圓五十錢
- ◇木舟——木製のお舟、エナメルで仕上げ水
に浮かせます。 一艘 金十二錢
- ◇紙舟——茶ボールに印刷した厚紙細工、剪
つて開き紙で詰め、クレオン色テープ等で
意匠し水に浮かせます。 五十個 金一圓
- ◇ポンプ——消防用小型の機構全部金屬製ラ
ツカー塗装、ゴムホース付 一臺 金十五圓
- ◇龍吐水——全部金屬、要所砲金使用 一個 金三十圓
- ◇噴水——水槽、水管、噴水孔付水盤
木製 一個 金二十錢
- ◇撒水車——便利で應用自在、 一臺 金八圓
- ◇砂場用具——一號品にバケツ・杓・木
勦・新案杓子。
二號鐵製シャベル・ホーレーキ・ホー
ク・板箕・篩。 一組 金七拾圓
- ◇砂場の汽車とトンネル
一組 金一圓三十五錢

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一回十五日發行)

昭和八年七月八日印刷納本
昭和八年七月十五日發行

定價三十五錢

株式會社 丸 貝 館

本店 東京・神田・小川路・電話九三(33)段七番
支店 大阪・東區・野平町・電話本局一三番